

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力
園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和4年3月3日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

教育アンケートありがとうございました！

「春めいてきました」



すべての生き物が動き出す「啓蟄」を迎え、随分春めいてまいりました。



2月25日（金）、保護者会主催により年長児とのお別れ会が開催されました。感染症拡大が激増する中、何とか開催の方法はないものかと思案され、クラス単位の実施の運びとなりました。

おわかれは寂しいけれど、卒園を前にして、共に過ごした時間を振り返る機会はとても貴重です。マジックショーで大笑いしていた子どもたちも、スライドショーになるとじっと見入って、やがて大好きな歌の大合唱になりました。感極まって泣き出す子どももいて、私たちもう涙を止めることができない感動の場面になりました。

最後に、小縣長様からは、しみじみと心のこもったご挨拶をされ、大変心を打たれました。本園の子どもたちは幸せですね。

そして、子どもを真ん中にして集い感激の涙を流し合える私たち大人もとてもとても幸せです。無事に終わった達成感と解放感でにこにこ笑顔の役員の皆さま、集合写真を撮って労い合いました。

また、2月22日（火）には、六甲山スノーパークへ雪遊びにも行くことができました。また、一つ素敵な思い出ができました。

これもひとえに、保護者の皆さまからの体調管理をはじめ、行事へのご協力のお陰です。改めまして感謝申し上げます。

生活発表会（3月4日（金））、卒園式15日（火）と続きますが、宜しくお願いたします。



「よい幼稚園」とはどんな幼稚園でしょうか。私は、問題のない幼稚園を意味するのではないと考えています。

「よい幼稚園」とは「育つ幼稚園」であって、それは教職員が幼稚園の課題について共有するとともに、その課題解決にむけて共に考えていこうとする—そのような教職員の「チーム」の在り方を意味しているのではないかと考えています。

今回の教育アンケートを受けて教員がどのように感じているかをご紹介します



本園のよさは、子どもたちに掛ける言葉掛けが丁寧であることだと思います。私自身、まだまだ未熟な部分はあるかもしれませんが、先生方の声掛けを聞いて意識する部分があります。子どもたちにとって、丁寧な言葉掛けは良い影響を与えていると思います。また、私自身丁寧な言葉掛けを意識することで、仕事とプライベートのオンとオフを切り替えられるようになったり、丁寧に子どもに伝えようとする事で子ども理解につながったりすることもありました。その姿勢が保護者にも伝わっていると嬉しく思います。

そのためには、園長先生がよくおっしゃっている「見てござる」が大事になり、誰に見られても良いように毎日意識をしており、このことは後輩にも伝えていきたいです。

次に、何か困ったことや悩みがあった際に、相談できる先生方がいらっしゃるということです。一人で抱え込むのではなく、一緒に考えようとしてくださる先生方やそのような雰囲気が良いと思います。何事も助け合いだと思うので、自分がこれまで助けてもらったり手伝ってもらったりしてきたことを、これからも返していけるように努めていきたいと思っています。

最後に、園全体としても、教育アンケートだけでなく、何か保護者の方からお言葉をいただいた際には、すぐに園全体で共有して改善策を考えて取り入れようとしていることも本園のよさだと思っています。

「1人の100歩より、100人で一步をめざそう！」

一人のスーパースターで成り立つのではなく、教職員の多様性を生かし、まずは一步着実に積み重ねて繋がり合っていく—そんな組織でありたい。そんな組織なら経験年数に関わらず、育ち合いが生まれる。

「育つ幼稚園」をめざしています。